

地域社会と連携しながら継続的に環境美化に取り組む全国の小・中学校を表彰

## 「第21回 環境美化教育優良校等表彰事業」 最優秀校4校ほか決定

### 【最優秀校】

文部科学大臣賞	鹿児島県	鹿児島市立西伊敷 <sup>にしいしき</sup> 小学校
農林水産大臣賞	青森県	大間町立奥戸 <sup>おくっぺ</sup> 小学校
環境大臣賞	石川県	白山市立北星 <sup>ほくせい</sup> 中学校
協会会長賞	愛媛県	松山市立興居島 <sup>ごごしま</sup> 小学校

清涼飲料・ビールなど飲料業界6団体で構成する、公益社団法人食品容器環境美化協会（略称：食環協、会長：平岡 敬規）では、本年度の「環境美化教育優良校等表彰事業」において、都道府県より推薦を受けた全国の小・中学校の中から最優秀校4校、優秀校6校、優良校21校を選定し、表彰いたします。

この表彰事業は、独創的な環境美化教育に継続的かつ熱心に取り組み、地域社会と連携しながら「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践することにより、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校を選出し表彰するものです。

最優秀校4校は、都道府県より推薦された中から審査委員会による厳正な審査を経て、「文部科学大臣賞」「農林水産大臣賞」「環境大臣賞」「協会会長賞」にそれぞれ決定いたしました。なお、小学校と中学校は、部門を区分せずに審査、表彰しております。

今回の最優秀校の中でもとりわけ特色のある活動を行っているのが、周囲を海に囲まれた豊かな島の環境を守り続ける、児童数45名の愛媛県松山市立興居島小学校です。島で唯一の小学校として、自分たちが島の将来を担うという自覚を胸に刻み、海岸に散乱している漂着ごみの回収に励んできました。その活動を見守り、支えているのが島の住民たちです。児童とともに、海浜植物「ハマボウフウ」の保護にも努めながら、昔の浜辺を取り戻そうと熱心に取り組んでいます。そうした住民の思いに応えようと、児童は手作りのポスターで島の魅力を発信するなど、美化活動を機に、郷土愛が培われるようになった教育の姿勢が高く評価されました。

最優秀校に決定した他の3校においても、地域の特色ある環境を守るために、児童・生徒が先頭に立って住民と連携しながら美化活動やリサイクル活動に励む姿が際立っていました。

また、昨年につき、海洋汚染を防ぐために率先して漂着ごみを回収する活動が顕著であったのに加え、日頃お世話になっている地域の方々に、どんな恩返しができるのかを考えて美化活動に取り組み、児童・生徒自らの発案により毎年形を変えながら継続して実施している姿が見受けられたのも

今回の受賞校の特徴です。

なお、最優秀校 4 校に対する表彰授与につきましては、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、一堂に会した会場での式典開催を中止し、これに代えて各受賞校において表彰伝達式を行うことについて各受賞校とご相談する予定です。

例年、最優秀校の活動の様子は表彰式典において動画でご紹介しているところ、本年度はそれができませんが、当協会 HP での掲載は、例年どおり、追って行う予定です。生き生きと取り組む児童・生徒の前向きな姿や教師の思い、サポートする地域住民の熱意を、インタビュー映像や写真を通してお伝えしてまいりますので、ご高覧下さいますようお願い申し上げます。



公益社団法人食品容器環境美化協会は、1973 年に設立されて以来 47 年の間、飲料容器の散乱防止とリサイクル推進の啓発を中心とした環境美化の推進に努めてまいりました。日本の環境が美しくなることを目的として、「環境教育の支援」、「ポイ捨て防止の啓発」、ならびに「アダプト・プログラムの推進」などの事業を展開しています。

「環境美化教育優良校等の表彰」は、「環境美化教育の助長」及び「地域の環境美化の啓発」を目的に 2000 年度から開始し、本年度が 21 回目となります。

この間、地域の環境美化やリサイクル推進に積極的に取り組む小・中学校を表彰し、これら各校の児童・生徒の活動を励ますとともに、その活動を広く紹介してきました。同時に、環境美化教育の全国における活性化にも寄与してまいりました。

環境教育への取り組みが年々重要になる中で、本年度も全国の都道府県から、独創的な環境美化教育に熱心に取り組む、校内だけでなく地域社会と連携して環境美化に大きく貢献する活動の実践に努めている小・中学校が多数推薦されました。これら各校の活動内容を、審査委員会において厳正に審査した結果、このたび 4 校が最優秀校、6 校が優秀校、21 校が優良校として選定され、表彰の運びとなったものです。

#### ■本年度の各都道府県からの推薦状況

第 21 回は、環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動を継続している小学校・中学校から都道府県が 1 校を推薦する方式

	合計
推薦があった都道府県数	31
推薦校数	31

#### ■本年度審査結果

審査委員会による審査の結果、受賞校を以下の通り決定

	受賞校数
最優秀校	4
優秀校	6
優良校	21

最優秀校に決定した4校の活動概要およびその他各賞の受賞校は以下の通りです。

■最優秀校の活動概要（詳細はP7以降参照）

<b>環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動</b>	
<b>文部科学大臣賞</b>	<p><b>鹿児島県 鹿児島市立西伊敷小学校</b></p> <p>「学校版環境 ISO 認定校」として、ゴミ分別、3R、資源リサイクル活動に力を入れている。特に、学校と地域、家庭が連携して、地域を挙げて取り組む姿勢は、環境活動を行う他の学校や団体のロールモデルとなっている。年11回実施するアルミ缶などの資源回収は、美化環境委員会児童が中心となって実施、回収後は空き缶つぶしや、重量を集計する地道な作業に勤しむ。収益金は、「アフガニスタンの子たちへランドセルを贈る活動」の送料や、「プールの生き物救出&amp;調査」で使用する環境活動用具の購入資金に充てている。他にも、PTA主催の資源回収活動が年間6回開催されるなど、継続的にリサイクル活動を実施。美化意識が根付いている児童は、通学路清掃にも積極的に取り組む。また、地域の高齢者の自宅や福祉施設には児童が訪問、保管されていた資源物を受け取る過程で、住民との交流が育まれるなど、児童が地域に育てられる良好な関係が構築されている。</p>
<b>農林水産大臣賞</b>	<p><b>青森県 大間町立奥戸小学校</b></p> <p>本州最北端の町、大間町の奥戸地区に位置する児童数31名の同校。津軽海峡に面した豊かな自然環境の下、児童は地域団体「川蟬会」の協力を得て、多彩な美化活動に取り組む。2005年から開始したのが地域のシンボルでもある「天狗山」を登山しながらの清掃活動だ。住民の飲料水となる「奥戸川」の源流を辿り、周辺のごみ拾い活動も行うなど水と命のつながりを実体験している。また、イワナ稚魚放流活動を同団体とともに実施。地域環境と自分との関わりの中から、主体的に課題を見つけ、解決を目指すようになった児童は、学んだことを新聞やポスターにまとめて発信。中学校と合同で行うクリーン活動も10年以上続く行事で、奥戸漁港周辺などのごみ拾いをしながら地域美化の意識を養う。住民の協力体制は強固で、児童が作った環境標語をドラム缶にペイントを施して林道に設置し、入山者に環境保護を呼びかけるなど、地域一丸となった保全が高く評価されている。</p>
<b>環境大臣賞</b>	<p><b>石川県 白山市立北星中学校</b></p> <p>「白山手取川ジオパーク」に指定されている徳光・相川海岸が校区にある同校では、2004年からボランティア海岸清掃に取り組んでいる。海水浴やバーベキューができる海浜公園として、市内外から観光客が訪れる名所のひとつだが、近年漂着ごみやポイ捨てごみにより広範囲に渡る汚染が懸念されていた。当時の美化委員会を中心に、ボランティアを募って海岸清掃を開始したのがきっかけで、毎年継続実施している。参加する生徒は年々増え、行事として定着してきたことから、2019年からは全校で取り組むようになった。通学路クリーン活動も全校を挙げて行う傍ら、生徒はマイクロプラスチックと漂着ごみについて学びを深め、自分たちに何ができるかを考え実践している。市が主催する海岸清掃活動にも率先して参加するなど、住民との交流を通じて、自分たちの住む地域を大切にする心を育んでいる。今後は、SDGsの環境目標を見据え、海洋汚染問題に挑む覚悟だ。</p>
<b>協会会長賞</b>	<p><b>愛媛県 松山市立興居島小学校</b></p> <p>周囲を海に囲まれた人口約1000人の島、「興居島」にある同校。豊かな自然環境に恵まれているが、海岸に沿って漂着ごみが散乱している。その状況打破のために2009年から、近くの船越海岸で住民とともに清掃活動を行っている。6年間毎年継続して清掃することで、児童は環境美化への意識が向上。総合的な学習の時間などを利用し、疑問に思ったことや興味を持ったことを意欲的に学び始めるなど、清掃活動自体が身近な環境問題提起の貴重な機会となっている。また、海岸沿いには希少な海浜植物「ハマボウフウ」が自生しているが、台風や豪雨による砂浜の侵食で、数が急減。地域の保護団体の指導の下、ハマボウフウの保全活動にも取り組む。児童は、経験したことや調べたことを島を訪れる観光客にも知ってもらおうと、ポスターを手作りフェリーや待合所に掲示。美化活動を機に、島全体の環境意識も高まり、児童の心にはふるさとを守るという強い心が育っている。</p>

■その他受賞校:

<優秀校> 協会会長賞 6校

山形県	西川町立西川小学校	福井県	つるが しょうりょう 敦賀市立松陵中学校
愛知県	へきなん ひがし 碧南市立東中学校	兵庫県	神戸市立岩岡中学校
福岡県	古賀市立古賀西小学校	宮崎県	延岡市立北川中学校

<優良校> 協会会長賞 21校

岩手県	くじ おおかわめ 久慈市立大川目中学校	秋田県	八郎潟町立八郎潟小学校
群馬県	前橋市立広瀬小学校	埼玉県	くき くき 久喜市立久喜小学校
東京都	はらだ 葛飾区立原田小学校	新潟県	みつけ たい 見附市立田井小学校
富山県	くれは 富山市立呉羽小学校	山梨県	やまなか 山中湖村立山中小学校
岐阜県	みたけ こうよう 御嵩町立向陽中学校	静岡県	掛川市立北中学校
大阪府	泉佐野市立第三中学校	和歌山県	にしわき 和歌山市立西脇中学校
広島県	みやうら 三原市立宮浦中学校	山口県	くだまつ とよい 下松市立豊井小学校
徳島県	まつしげ まつしげ 松茂町立松茂小学校	香川県	さかいで せい 坂出市立瀬居小学校
高知県	あき せいすいがおか 安芸市立清水ヶ丘中学校	佐賀県	からつ うつぼぎ 唐津市立簗木小学校
長崎県	いさはや 諫早市立小野中学校	大分県	いまづ 中津市立今津中学校
沖縄県	那覇市立石田中学校		

■表彰授与

●本年度においては、最優秀校を含め、表彰伝達式を各受賞校において行うことについて、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮しながら各受賞校とご相談する予定です。

## 環境美化教育優良校等表彰事業の概要

- 主催：公益社団法人 食品容器環境美化協会
- 後援：文部科学省、農林水産省、環境省
- 表彰の対象：環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校、およびこれに準ずる小・中学生の団体（以下「小・中学校」）

- 表彰：  
最優秀校 文部科学大臣賞 1校  
最優秀校 農林水産大臣賞 1校  
最優秀校 環境大臣賞 1校  
最優秀校 協会会長賞 1校
- ・賞状と副賞を贈呈  
・上記の他、「優秀校」、「優良校」に対し、協会会長賞として賞状と副賞を贈呈

■推薦・審査：

都道府県の環境整備主管部局、または教育主管部局が推薦する小・中学校を審査委員会で審査

■審査委員：

- |         |        |   |
|---------|--------|---|
| [審査委員長] | 小澤 紀美子 | 東京学芸大学名誉教授・東海大学大学院客員教授  |
| [審査委員]  | 小澤 孝行  | 公益財団法人 日本環境協会 専務理事  |
|         | 國分 重隆  | 全国小中学校環境教育研究会 顧問<br>東京都教職員研修センター研修部教育開発課 教授   |
|         | 小島 あずさ | 一般社団法人 JEAN 事務局長・副代表理事  |
|         | 堀田 肇   | 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会<br>業務執行理事 企画広報部長   |
|         | 古池 準一  | 公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員<br>サントリーホールディングス株式会社<br>コーポレートサステナビリティ推進本部<br>サステナビリティ推進部 専任部長 |
|         | 橋本 秀也  | 公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員<br>アサヒ飲料株式会社 コーポレートコミュニケーション部<br>CSV 推進グループ プロデューサー            |

(敬称略)

## 公益社団法人食品容器環境美化協会の概要

1973年（昭和48年） 任意団体「食品容器環境美化協議会」として発足  
1982年（昭和57年） 社団法人「食品容器環境美化協会」（農林水産大臣設立認可）  
体制整備を図り、事業活動を強化するため公益法人化。  
2011年（平成23年） 公益社団法人「食品容器環境美化協会」（内閣府認可）  
公益法人制度の改革に伴い、内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受け、「公益社団法人」  
として再発足。

主な活動 : ○新しいまち美化手法「アダプト・プログラム」の普及と推進活動  
○小・中学校でのパソコン学習支援サイト「まち美化キッズ」の運営、  
教育者向け「環境美化 学習のガイド」の制作提供等の次世代への  
環境教育支援 <https://www.kankyobika.or.jp/kids/>  
○市民団体等への環境美化活動の支援  
○「ポイ捨て防止」啓発活動  
○散乱ごみ対策の調査・研究 等

構成団体 : 一般社団法人 全国清涼飲料連合会 <http://www.i-sda.or.jp/>  
清涼飲料メーカーなど企業会員 49 会員 83 社、組合会員 19 会員 159 社、  
賛助会員 144 社からなる社団法人  
一般社団法人 全国トマト工業会 <http://www.japan-tomato.or.jp/>  
トマト加工製品メーカーなど 34 社からなる社団法人  
一般社団法人 日本果汁協会 <http://www.kaju-kyo.ecnet.jp/>  
果実飲料メーカーなど 122 会員からなる社団法人  
日本コーヒー飲料協会  
コーヒー飲料メーカーなど 19 会員からなる任意団体  
コカ・コーラ協会  
日本コカ・コーラ社と全国のコカ・コーラボトリング社からなる任意団体  
ビール醸造組合 <https://www.brewers.or.jp/>  
サントリー、アサヒ、麒麟、サッポロ、オリオンのビール 5 社による特別認可法人

■本件に関するお問い合わせ先■

公益社団法人食品容器環境美化協会（食環協）

〒108-0023 東京都港区芝浦 2-15-16 田町 K.S ビル 6 階

TEL. 03-5439-5121 FAX. 03-5476-2883

ホームページ <https://www.kankyobika.or.jp/>